

岩海岸 どんど焼 行事 柱立て・やぐら組みマニュアル

朝8時半 岩海岸集合

A【しの竹 採取】

- 1 しんの竹(アズマネザサ)切り作業に出発。(場所は岩棚子下＝長坂住宅付近)
- 2 しんの竹切りと結束…約 10 本ほどをひとつにして荒縄で束ね、トラックへ載せる。
- 3 車で岩海岸へ搬送。
(これまでは計 80 束ほどを運んだ)



イラスト 八木逸 ©

※ 10 時頃にお茶(ペットボトル)で小休憩。

B【孟宗竹 採取】

- 1 稚児神社へ孟宗竹を切り出しに行く。堅く丈夫でまっすぐなもの。5～6本(?)ほど。

C【お飾りの回収】

- 1 岩地区道祖神をまわって正月飾りを回収する。
- 2 岩海岸へ運ぶ。

※【お昼】…真崎荘にて用意。

D【やぐら立て 作業】

- 1 柱を立てるための穴を掘る。
- 2 柱組み。中心になる長い竹を選ぶ。最近はやらなくなったが昔は2～3分の1ほどの長さの竹を下部にもう一本添え木としてあてていた。
- 3 次に上部に大小二本を竿状に直角に結びつける。
- 4 余った竹で鳥居を作る。
- 5 竿にはダルマを取り付ける。
(取り付けにはすべて番線を使う)
- 6 柱を立てて固定するための荒縄にワイヤーを張る。
- 7 荒縄ワイヤーを柱の各所に取り付ける。(中心1本と四方4本)

- 8 柱を立てる。脚立などを使って後ろから介添えするのがポイント。
ダルマを神社方向に向ける。
- 9 柱が立ったらまず根元を石と土砂で埋める。
しの竹の束を葉を上側にして、やぐらの作りが円錐状になるように立てかけていく。
- 10 柱を起こすときに使った中心の高い位置からしっかりと。荒縄を使って周囲を巻いていく。これの出来、不出がやぐらの耐久性に影響するので高い位置からしっかりと。
- 11 内側では束の荒縄を切って広げていく。海側に入り口を作る。
- 12 形ができたなら、今度は葉を下にして差し込み、すそを葉で覆う。
- 13 正面に鳥居を取り付ける。
- 14 海岸に出されていた正月飾りをやぐらの中や周囲にあつめる。
- 15 完成。
(終了時刻は昨年で午後4時頃)